



燃え盛る炎の中を裸足で渡る神崎寺の金澤住職



子どもたちも利根川クルージングを満喫

神崎寺の火渡り修行

10月11日、神崎寺の伝統行事「火渡り」が、利根川河川敷を会場に行われました。

山伏の装束を身に着けた修経者の行列がJR下総神崎駅から会場まで町内を練り歩き。会場では燃え盛る火の前で護摩の秘法をとり行った後、炎の上を山伏が素足で歩き、その後火勢を弱め信徒や見物人が無病息災を祈願して渡り歩きました。また、会場内ではプレジャーボート等の体験乗船やコスモスの花摘みが行われました。さらに、川岸通り沿いには朝市など十数軒が出店し賑わいをみせました。



河川敷に3000㎡のコスモス迷路も登場

毛成十一面観音三十三年目の御開帳

10月17日、毛成区に300年以上前から伝わる十一面観音菩薩像の御開帳が毛成観音堂を中心に盛大に開催されました。

この十一面観音は男女の区別なく救ってくださる仏様であるとされ、特に安産祈願を背景として祀られ女性に人気があります。

33年ぶりの御開帳とあって、毛成区は2年前から準備を始め、区を上げて稚児行列や法要行事を立派に行い、来場の方々をもてなしてくださいました。



御開帳された十一面観音菩薩像



なかよくお参り。ごりやくがありますように。



毛成コミュニティセンターで演芸大会も開催